

Culture of SAPPORO/HOKKAIDO/JAPAN
Since 2004 

Pilat
magazine

TAKE FREE
December, 2011

PLACES TO GO PEOPLE TO SEE

SAPPORO
CITY GUIDE
2012

05

21

09

17

19

29

36

37



札幌市
 人口：
 1,920,000人
 観光名所：
 大通公園
 時計台
 羊ヶ丘展望台
 テレビ塔
 モエレ沼公園
 催事：
 さっぽろ雪まつり(2月)
 YOSAKOIソーラン祭り(6月)
 名物：
 ジンギスカン
 ラーメン
 スープカレー
 寿司・海鮮

07

08

04

13

06

22

16

26

03

14

42

15

20

50

39

18

24

35

41

28

01

33

40

27

25

48

46

12

32

47

23

10

45

30

PLACES TO GO PEOPLE TO SEE
SAPPORO CITY GUIDE 2012

札幌の街に息づく、ファッション、音楽、アート、飲食など、個性的で魅力溢れるカルチャー。見慣れたいつもの風景にも、まだ知らない出会いと感動がきっと待ち受けているはず。地元暮らしに暮らす人々が通うショップには、人と人がつながる、かけがえのない絆があります。

ペーパー印刷版「SAPPORO CITY GUIDE 2011」(部数限定)を無料配布します。
 日時や場所などの詳細はウェブサイト「News」内にてお知らせします。 <http://www.pilot-publishing.jp/pilot>

現地50人が通う おすすめショップ

Question

- A あなたが知るお店の魅力とは？
- B おさえておきたいポイントは？
- C 印象に残るエピソードは？

01

酒場 髑髏屋

住所 札幌市中央区南5条西5丁目 第一桂和ビル1F
電話 011-562-4955

- A 初対面で異文化の人でも小一時間ほどで仲良くなれるアットホームさ。
- B おすすめは、何と言っても店主・近藤浩の「爆笑酔いどれトーク」！ススキノでは3本の指に入る“おもしろおっさん”間違い無しです。あと右腕のミヤクんの30年位前から現在までの「高校野球トーク」。プロ野球選手も唖る驚愕の情報量！どんな質問でも答え、プロ野球選手の出身校から甲子園でのエピソードまで瞬時に飛び出すのは圧巻です。

- C 店主の人望のためか、様々な著名人に遭遇することが多々あります。現在も第一線で活躍する“ある大物女優”をあの店で見た時には“5度見”してしまいました。



佐々木 たくお
[札幌スーパーギャグメッセンジャーズ]
団長

ラジオ番組のパーソナリティをはじめ、劇団の客演、TVCM、執筆活動など幅広く活躍中。
http://www.s-gag.com/blog/index.php

STEAL Leather Industry

札幌PARCO店

住所 札幌市中央区南1条西3丁目 札幌マルコ-6F
電話 011-350-3708
http://steal.co.jp/

- A 札幌発祥のブランドでハンドメイドの革製品のお店です。お店にいるスタッフさんが作ったアイテムがほとんどで、特に大きめのステッチのデザインが可愛い。

- B 作った本人から買うと、愛着がさらに湧きます。無料で名前を刻印してくれたり、金具が壊れても修理してくれるので嬉しいです。最近はカービンやカッティングも始まったようです。

- C 4年目のオイルレザーの財布が、良い感じに伸びて柔らかくなってきて、たまに店員さんに見せに行くとすごく喜んでくれます(笑)。あと数年は使い込んでクタクタにしたいです。



石田 愛実
[THE★米騒動]
Gt.&Vo.

2010年、10代限定フェス「閃光ライオット」にてグランプリを獲得。2011年、1stミニアルバム「どうでも良い芸術」をリリース。
http://39.xmbs.jp/TheRicePanic/

03

はちきょう 本店

住所 札幌市中央区南3条西3丁目 都ビル1F
電話 011-222-8940
http://www.atomsgroup.jp/

- A 薄利多売のご時勢に決して売残りしない、何事にもぶれない姿勢。もちろん、鮮度が良い食材と高いクオリティ。そして、人が魅力。「鮭児の刺身」とか(笑)。

- B 全て美味しいですが…個人的には、いつもお任せなので。でも、やっぱり新鮮な魚介ですかね。「鮭児の刺身」とか(笑)。

- C 美味しいご飯やお酒を楽しみたい時に行くことが多いですが、考え事や気持ちが不安定な時にも行きます。そんな時は、もちろんひとりで(笑)。



安岡 洋兵
[thread.]
ディレクター

住所 札幌市中央区南3条西7丁目6-3(狸小路7丁目内)
電話 011-209-0009
http://www.threadweb.jp/

地鳥Bar 十三夜

住所 札幌市中央区南2条西6丁目 ベンガルビル1F
電話 011-271-3334

- A 旬な食材を使った料理や種類豊富なお酒もそうですが、きびきび働くスタッフさん達は見ていて気持ちが良いです。オーダーは基本お任せなのですが、店主が僕の体を気遣って野菜を多く出してくれるものありがたいです(笑)。

- B どれも美味しいですが、「白レバー」が特におすすめです。

- C 今までレバーがあまり得意ではなかった僕が、今では逆に大好物になってしまいうらい、この「白レバー」は絶品です。お店へ行かれた際にはぜひ食べてみてください。



河田 裕一
[ARCH HERITAGE]
ディレクター

住所 札幌市中央区南4条東1丁目9-3
電話 011-281-5560
http://www.arch-heritage.com/

秀岳荘 本店

住所 札幌市北区北12条西3丁目
電話 011-726-1235
http://www.shugakuso.com/

- A スタッフの方々の知識や経験が、ショップや商品ひとつひとつに宿っていて、説得力のある接客とプロフェッショナル精神にはいつも刺激を受けています。

- B 「ボルダリングエリア」。達人がたくさんいます。

- C 仲間でキャンプへ行く途中には必ず立ち寄ります。ランタン用のガスソリンや木炭など、アウトドア時の準備には欠かせません。



三浦 建人
[South2 West8]
スタッフ

住所 札幌市中央区南2条西8丁目2-1
電話 011-280-7577
http://www.nepenthes.co.jp/

Klub Counter Action

住所 札幌市中央区南2条西1丁目 広和ビル-2F
電話 011-222-1413
http://klubcounteraction.com/

- A 好きだから！ここいらにしかなかった。

- B 全部好き！

- C 母さんも来たことある。



スガワ マサシ
[ベガースワンドル]
代表

2008年、札幌発のゆるキャラ「コアックマ」を発売。“SMILE CHANGES THE WORLD”(笑顔は世界を変える)をテーマに、イベント出演やボランティア活動など展開。
http://koakkuma.jp/

little

住所 札幌市中央区北1条西27丁目2-1
電話 011-644-0324
http://flowerlittle.jp/

- A 普通の花屋さんでは見かけることのない花がたくさんあり、ドライも数多く製作・販売しています。アレンジもセンスの良さが伝わり、すごくかわいいです。

- B お花のアレンジ教室を開催していて、しかも格安。花器も取り扱っています。

- C 独立祝いに、金の杯に入ったアレンジを作ってくれました！見たことのない花がいっぱいあって、行く度にいろいろと教えていただいています。



吉川 麻子
[cocoon photographs]
フォトグラファー

2011年、スタジオ勤務を経て独立。雑誌・広告・ポスター等ジャンル問わず幅広く撮影。

05

Piccolina

住所 札幌市中央区南1条西15丁目1-319 ルレーブ大通ビル-405号
電話 011-676-8210
http://piccolina.ocnk.net/

- A オーナーのセンスと人柄が店内に広がる、ぬくもりあるお店。見ているだけでハッピーな気分になれる、北欧独特な柄の食器や小物が上品に陳列され、すべてにこだわりや愛情が感じられます。

- B 季節のイベントに添った品揃えやディスプレイなど、いつも新鮮で違った表情で魅了してくれるお店。つついっ手が伸びてしまいます(笑)。

- C 初めてお店へ足を踏み入れた時のわくわく感は、未だに忘れられません。店内の壁に描かれたモチーフや繊細に並べられた雑貨、一点一点がどれも素敵で目移りしたのを覚えています。



小松 未奈
[wow retro sapporo]
スタッフ

住所 札幌市中央区南2条西1丁目
電話 011-271-2127
http://wowretro.com

L's garden

住所 札幌市中央区北4条西3丁目1 成友ビル-4F
電話 011-211-1039
http://ls-garden.jp/index.html

- A 信頼のおけるスタイリストが「このヘアスタイルにしたい」を必ず形にしてくれるショップ。その人に合った髪型を、手間暇を惜しまず見つけだしてくれます。私は10年来同じスタイリスト(オーナー)さんをお願いしています。

- B カラーとトリートメントは丁寧で優しく特におすすめです。

- C 未だに申し訳なく思っているのですが、納得のいくカラーに完成するまで、一日の間に3度も直してもらったことがあります。すごく迷惑な客なのに、スタッフのみなさんが笑顔で対応してくれてすごく嬉しかったです。



松井 あゆ子
[JENNIC 札幌店]
ディレクター

住所 札幌市中央区北2条東3丁目2-9 天坂ビル1F
電話 011-251-5152
http://jennic.way-nifty.com/

あじと2 日びの

住所 札幌市中央区南16条西4丁目1-102
電話 011-552-3729
http://www.itadakimasu-jp.net/hibino/index.html

- A 古い倉庫を改装して作ったカワイイ店とスタッフの笑顔に和まされます。2階が時計台と同じ作りで、柱が1本もなく開放感があってステキ！いつかアコースティックのライブとか組んでみたいなー。

- B いつも「豆じゃらけ(カレーセット)」を頼んでしまいます。忙しくなるとちゃんとゴハンを食べられないことが多いので、いっぱい豆を食べる健康になったつもりでいます！3種類から選べるごはんがおいしい！

- C 先日、両腕をヤケドをして行ったら、お店じゅうの人(スタッフ&お客さん)が、ヤケドの直し方を教えてくれました(笑)。



さいとーあつこ☆
[3110音頭]
プロモーター

アーティストの宣伝プロモーション、キャンペーンブックング・ライブ、イベントの企画・制作・運営など幅広く活動中。
http://www.3110-ondo.com/

日本酒バル owl

住所 札幌市中央区南2条東1丁目 M's EAST 2F・3F
電話 011-596-7876

- A 日本酒です。種類がたくさんあって店主がいろいろセレクトしてくれます。

- B 「いぶりがっこ蓮根のきんびら」がおすすめです。

- C おにぎりの話かな？にーチャンとだけど…。



SUZU
オーナー

住所 札幌市中央区南4条東3丁目14-1 aftertalk bld-1F
電話 011 207 0892

アンティークショップ 36号線 中央店

住所 札幌市中央区南5条東3丁目9
電話 011-521-5391
http://antique36gosen.com

- A 古道具からインダストリアルな物まで幅広く店内に陳列されており、何か探しに行った時に必ず欲しい物が見つかります。

- B 不定期で商品入荷があるので、ママに見に通うのがおすすめです。

- C 大きな物を買って、抱いでふらふら戻る時に、車に轢かれそうになった姿を目撃されたことです。



山影 洋介
[KAPITAL 札幌店]
スタッフ

住所 札幌市中央区南2条西一丁目7-2 壱丁目ビル
電話 011-200-4530
http://kapital.jp

LUSH 札幌PARCO店

住所 札幌市中央区南1条西3丁目 札幌マルコ-B2F
電話 011-200-7375
http://www.lushjapan.com

- A スタッフが元気で話しやすく、商品や香りの種類が豊富なのも好きです。

- B ボディソープの「ボヘミアン」が気に入っています。

- C 友人が働いており、自分に合った成分のものや香りを教えてくれるのでとても助かります。



山崎 絵里奈
[CAL STAR]
スタッフ

住所 北海道札幌市中央区南3条西2丁目7-1F
電話 011-242-0355
http://www.cal73.com

GARAKU Soup Curry

住所 札幌市中央区南3条西2丁目7 串島-2F
電話 011-233-5568
http://www.s-garaku.com

- A 毎日行列ができていますが、並ぶ価値がある旨さです！

- B 肉が柔らかくて美味しいので、チキンや角煮カレーがおすすめです！辛いのが苦手な人でも食べやすいと思います！

- C 店員さんの対応や、落ち着いた店内が好きです！



秋井 孝介
[CAL STAR]
スタッフ

住所 北海道札幌市中央区南3条西2丁目7-1F
電話 011-242-0355
http://www.cal73.com

Bistrot La MARMITE

住所 札幌市中央区南2条東1丁目 M's二条横丁-1F
電話 011-300-2891

- A 本場フランスで修行を積んだオーナーシェフが、ひとりで創作料理を振る舞ってくれる小さなビストロは、こじんまりとぬくもりある雰囲気、家族や友人と気軽に味わえるのが嬉しいですね。オープンキッチンになっているので、シェフと話をしながら調理過程が見られるのも楽しいです。

- B 余市から直接仕入れられている新鮮な野菜や珍しい野菜の美味しさに驚かされます。

- C トマト5種を生やソテーといろんな調理で出してくれたり、その美味しさはもちろん、演出や技法にも毎回感動させられています。



川尻 亮一
[川尻写真館]
フォトグラファー

1980年、奥尻島生まれ。フォトグラファー・安孫子寛人氏、馬場吉輔氏に師事。2008年、独立。
http://r1kwjr.exblog.jp

13

14

15

Question **A** あなたが知るお店の魅力とは？ **B** おさえておきたいポイントは？ **C** 印象に残るエピソードは？

FABcafe

住所 札幌市中央区南2条西8丁目5-4
電話 011-272-0128

A シンプルな空間が居心地よく、ゆっくりとくつろげるカフェです。自家焙煎“斉藤珈琲”のコーヒーも旨いです。

B ランチに訪れることが多いのですが、良い息抜きになっています。

C 年に数回、インショップでボサノヴァやウクレレなどの生ライブが開かれているのも楽しいです。



FURU

「華 AGRA」
店主

住所 札幌市中央区南1条東2丁目「FABULOUS」内
電話 080-5595-0334

16

Plats Saisonniers

住所 札幌市中央区北5条西27丁目3-5 エスポワール円山1F
電話 011-556-2588

A フランス料理の総菜とパン、焼き菓子のお店です。フランス料理の総菜は珍しいのですが、とにかく旨いです。

B すべておすすめですが、子羊のクスクスとか野菜のマリネが気に入っています。28丁目の駅でイトインも、お持ち帰りもできる利便性もポイント。

C 去年のクリスマスはここでひとり満喫させていただきました。



齋藤 運

「FIGURE」
スタッフ

住所 札幌市中央区南3条西5丁目1-1
NORBESA-1F
電話 011-242-1950
http://www.star-j.com/figure_sapporo/

サンローゼ ススキノ店

住所 札幌市中央区南4西3 北星ビル-B1F
電話 011-221-3431

A マダムをうならせる味。そしてざっくばらんな店内の雰囲気。どのメニューもデフォルトでレベル高いです。そりゃマダムが虜になるわけだよ。

B 抹茶ぜんざいを頼んだら漬物とあったかいお茶がついてきます。最初間違っって持ってきたのかと思いましたが、これが甘いぜんざいと漬物がある!!「将太の寿司」以上のサプライズでした。

C マダムの熱気がすごい。元Hanako族のマダムはやっぱ勢いが違う。ちなみにマダムは声が大いなので隣の会話も筒抜けです。少しだけパブルのにおい漂う店内の内装もいい味出してます。



小野寺 司典

「コネクト」
ディレクター

1974年、札幌生まれ。2001年、ライブハウス「COLONY」をオープン。2008年よりイベントホール「cube garden」キュレーターを務める。
http://www.cube-garden.com

17

18

Fox Fire

住所 札幌市中央区北2条東4丁目1-2
サッポロファクトリー2条館-3階
電話 011-207-5026
http://www.foxfire.jp/

A 北海道各地からビギナー、ハードコアフライフィッシャーが集まるショップ。北海道のフライフィッシングを知り尽くしているスタッフの上田氏。“DJ釣り人”として夜の顔も持っているエンターテナー。

B 年に数回、上田氏によるフライフィッシングツアーを開催しています。

C 北海道の“釣り”、“音(ダンクラ、ハウス)”のことは、お任せしています。



林 英男

「MILLET STORE SAPPORO」
スタッフ

住所 札幌市中央区北2条東4丁目 サッポロファクトリー2条館-3F
電話 011-219-1477
http://www.millet.jp

maruyama DRILL

住所 札幌市中央区北1条西27丁目1-7
電話 011-213-7374
http://maruyamadrill.com

A 店内で使用している家具や食器、そして道産の食材を使用したりなど、随所に拘りの感じられる素敵なお店です。

B 個人的にお勧めのメニュー「ペンネゴルゴンゾーラ」は、行くと必ず食べています(笑)！昼と夜のメニューが違うのも注目です！

C ワールドカップ日本代表戦はお客さん全員で応援しました！そんなアットホームな雰囲気もマルドリならでは！



岩谷 洸太郎

「ARCH」
スタッフ

住所 札幌市中央区南3条西8丁目 第一ビル1F
電話 011-261-5083
http://archstyle.tv



ヤマダ

「the last flower of the afternoon」



ヤマダ

「the last flower of the afternoon」

2009年より衣服ブランド「the last flower of the afternoon」を活動開始。ブランド活動の他、リメイクやオーダーメイドなども行う。
https://sites.google.com/site/tfota/home



ヤマダ

「the last flower of the afternoon」

CAFE FORK

住所 札幌市西区西野6条2丁目3-26 西野二股手前
電話 011-664-4658
http://cafefork.exblog.jp/

A やはり、店主・中嶋さんの人柄でしょうか。彼は、以前アパレル関係の仕事をしていたこともあり、もうかれこれ15年位の付き合いになります。何でも相談できる兄貴的存在です。

B 牛100%の「リアルハンバーガー」は絶品です。

C すごくアットホームな雰囲気、うちのスタッフも皆よく利用させてもらってます。西区にあるお店なのですが、わざわざ足を運びたくなる、そんな魅力のあるお店です。



山内 公史

「MISANGA INTERNATIONAL」
代表

セレクトショップ「ARCH」をはじめ、札幌市内でアパレルショップを5店舗手掛ける。
http://archstyle.tv

weird-meddle record

住所 札幌市中央区南2条西1丁目9-4
電話 011-242-3370

A ほとんどのCDを試聴することができます。

B オーナーが厳選したCDを洋楽邦楽問わず取り扱っています。

C CD以外にも音楽にまつわる雑貨や本もあります。



SHUN

「MACRO」
オーナー

住所 札幌市中央区南3条西1丁目 タカラビル-3F
電話 011-271-0396
http://www.macro-lab.com

宮越屋珈琲 南13条石山通り店

住所 札幌市中央区南13条西11丁目
電話 011-563-2388
http://www.miyakoshiya-coffee.co.jp/

A 深夜3時まで営業しています。アトリエから近いので気分転換したい時などに利用しています。

B 「アイスコーヒー」と「チーズトースト」がお気に入りです。

C いつ行っても変わらずぬ雰囲気でもとても落ち着いた空間です。



ヤマダ

「the last flower of the afternoon」

2009年より衣服ブランド「the last flower of the afternoon」を活動開始。ブランド活動の他、リメイクやオーダーメイドなども行う。
https://sites.google.com/site/tfota/home

21

BAR BAHIA

住所 札幌市中央区南3条西3丁目 サンスリービル-4F
電話 011-219-0434
http://bahia.y7.net/

A 美味しいお酒と音楽が美味しく酔わせてくれます。

B 気がつくとも踊らされています。

C 何度も泥酔してご迷惑をお掛けしています…。



斉藤 亮

「WESS inc.」
CREATIVE1 コンテンツプロモーション

北海道を代表する野外フェスティバル「RISING SUN ROCK FESTIVAL」をはじめ、コンサートやイベントなど様々なプロモーションを行う。
http://www.wess.jp

酒肴 八

住所 札幌市中央区南6条西4丁目 タカセビル-4F
電話 011-532-7322
http://blog.goo.ne.jp/shucho-8

A 牡蠣と日本酒を味わうならここ！こじんまりとして落ち着く店内と、酒好きなら欲するおつまみメニューが魅力。

B 仙鳳趾産の牡蠣が代表的メニューであり、その濃厚な生牡蠣はやみつきになります。

C 自分へのご褒美や何かお祝いごとがある時はよく利用させていただいています。



砂原 このみ

「JUILLET」
バイヤー

住所 札幌市中央区北5条西2丁目 札幌ステラプレイスEAST-B1F
電話 011-209-5448
http://juillet7.exblog.jp

Q BAR

住所 札幌市中央区南4条西4丁目 第5グリーンビル-5F
電話 011-522-5269.
http://ameblo.jp/qbar/

A もともとバンドマンのKENTAROCK (ex.The LILAC)と、次郎 (ex.The VOX)がマスターのお店。流れる音楽が良いのでつつい長居してしまいます。ここに集まる人々が底抜けに个性的で愉快。音楽人が愛するお店です。

B 「鶏がら塩おでん」は寒い季節にピッタリ。

C 9月9日に「Q BAR」Tシャツを着て100人で札幌駅からススキノ間を歩きました。お客さんも巻き込んでそんなことをさせちゃうのがこの店の魅力(?)です。



金田 ヒデミ

「COLONY」
ブックイングマネージャー

住所 札幌市中央区南7条西4丁目 LC拾壹番館-B1F
電話 011-532-3329
http://www.colony6.com

24

Bar Libido

住所 札幌市中央区南5条西2丁目 社交会館ビル-5F
電話 011-299-2010
http://bar-libido.com

A 様々な職種の酒好きと音楽好きが多く集まるバー。隠れ家的な雰囲気が好きでよく通っています。

B マスターのトークが絶品です。

C いろいろありすぎて、ここでは語りきれません…。



千葉 英樹

「MAW of SAPPORO」
スタッフ

住所 札幌市中央区南2条西4丁目12-1 KMN BLD-1F
電話 011-219-5186
http://www.hfweb-blog.jp/maw/

kitchen TORONJA

住所 北海道札幌市中央区南3条西9丁目998-5
電話 011-242-0224

A 世界がちよっと面白くなるショップです！

B キーマカレーと雑貨がおすすです。

C もう何年も前ですが…お店のDMをデザインしたら、お礼に「アニマリート」(メキシコの動物人形)をいただいたんです。他と比べてスペシャルなものだったのですが、いまだにこれ以上のものを見たことがない！たぶん、一生近くに置いておくでしょう。



高橋 大晴

グラフィックデザイナー

札幌を拠点に活動するグラフィックデザイナー。
http://www.hand-to-eye.com

饅頭の四國

住所 札幌市中央区南1条西1丁目 札幌シャンテ-B2F
電話 011-222-4111
http://www.udonnoshikoku.com

A 落ち着いた雰囲気とやはり味。

B 「釜揚げシロース」も「生醤油シロース」もうまい。

C 偶然、知り合いが2人も働いていたこと。



片桐 真

「SNC」
スタッフ

住所 札幌市中央区南3条西2丁目 TESビル-B1F
電話 011-200-7688
http://www.snscnscnc.com

27

28

29

30

平岸つくね山海

住所 札幌市豊平区平岸3条7-1-27
電話 011-815-8070

A 安くておいしい。落ち着く。店長がフレンドリー。何より平岸が好きなので。

B ビールに合うものばかり。「ホタルイカの沖漬」が特に好きです。しじみの味噌汁は¥0。

C 記念日だって、クリスマスだって、合コンだってここで開くらい、大好きです。通いすぎて「永久VIPカード」を頂いちゃいました。



本間 翔好

「ARCH HERITAGE Le SALON」
スタッフ

住所 札幌市中央区南1条西3丁目3 PARCO-3F
電話 011-281-4280
http://archheritage-le-salon.blogspot.com

Stile di Veronica

住所 札幌市中央区南1条西2丁目18 イケウチ-2F
電話 011-281-8405

A 和洋折衷独特の“ヴェロニカカラー”な品揃えなのに、セレクトがどこか上品。お値段が手頃なのも嬉しいです。

B オーナーの厳しい審美眼で選ばれている家具や雑貨。次に何が登場するかいつも楽しみです。

C 部屋に着々とヴェロニカの家具や雑貨が増えていきます。



伊藤 真希子

「dag lig dag」
オーナー

住所 札幌市中央区南1条西2丁目18 イケウチ-2F
電話 011-281-6202

coffee.bar sasa

住所 札幌市中央区南6条西3丁目 第2桂和ビル-2F

A 店主の発する言葉と存在が魅力。いつも常連客で賑わっています。

B 厳選された希少な焼酎や数量限定の「ササバカレー」も絶品です。

C 同級生が経営するショップなのですが、ロゴやDMをデザインさせてもらいました。



境田 逸人

グラフィックデザイナー

1977年、札幌生まれ。某デザイン制作室に所属しながら、「bondgraphic」名義としても活動中。
http://bondgraphic.jugem.jp

31

32

Question **A** あなたが知るお店の魅力とは？ **B** おさえておきたいポイントは？ **C** 印象に残るエピソードは？

33

旬鮮居酒屋 だいまる

住所 札幌市中央区南5条西3丁目
グランド太陽ビル-6F
電話 011-512-8880

A 活きた素材とそれを活かさきる料理の数々。道産食材を豪勢に使い、極上料理をお腹一杯味わうなら間違いなし。舌で驚き、のどが喜び、胃は笑うくらい、最後まで食材が身体に染み渡ります。

B おすすめは、看板のひとつ「ラーメンサラダ」!海鮮と野菜がたっぷりと盛られたラーサラは、恐らくどの店でもお目にかかることのできないこの店のオンリーワン!

C コースのメに出てきたお茶漬げが最高。男3人でこの店でこの料理を味わって、「この料理を二日酔いの朝に出してくれる人と結婚しよう」と心に決めました(笑)。



江尻 拓也

「株式会社ノースユナイテッド」

札幌圏のニュースを届けるインターネット新聞「札幌経済新聞」の記者を務める他、クーポン共同購入サービス「DoPon」の制作も行う。
http://www.north-utd.com

34

五修堂

住所 札幌市中央区南1条東2丁目9-2
電話 011-232-5410

A リーズナブルな価格とボリューム、豊富な日替わり定食。

B 「あんかけ焼きそば」と「Cランチ」(麺ものとご飯もののセット)がおすすめです。

C 会社ランチの定番です。



川尻 固広

グラフィックデザイナー

1982年、札幌生まれ、女満別(現大空町)育ち。デザイン会社を経て、現在「IMPROVIDE Co.,Ltd」でデザイナーとして働く日々。
http://www.improvide.co.jp

35

Bar shelter

住所 札幌市中央区南3条西1丁目 北日本ビル-B1F
電話 011-221-2495

A いかにもバーといった雰囲気で、かかっている音楽にこだわりが感じられます。

B 油そばがおすすめです!

C 「Bar shelter」と「anoutcommune」が主催する「sprout」というイベントに3回出演しました。DJにライブに、お店の常連さんも音楽ファンも分け隔てなく楽しんでいます。



tokky

1983年、札幌生まれ。2002年から音楽活動を開始。2010年からシンガーソングライター・バスカーとして活動を開始。
http://www.myspace.com/pfak

SATO COFFEE

住所 札幌市中央区宮の森1条6丁目5-15 宮の森ビル-1F
電話 011-688-697
http://sato-coffee.jp/index.html

A カフェと喫茶店の間のような店。空気、音、光、香り。すべてが、大人にちょうど良い感じ です。

B 自家焙煎の「コーヒー」と自家製「ケーキ」がおすすめ です。

C オーナーのサトーさんに「DROLL」が店舗移転し際に店で使う、ワゴン、サイドテーブル、カウンター、看板を特別に製作していただきました。世界にひとつだけのものができて、とても気に入っています。



横山 光輝

「DROLL」

オーナー

住所 札幌市中央区北1条西3丁目3-2 MEDAL BLD-3F
電話 011-251-1650
http://www.droll-hair.com

WORLD BOOK CAFE

住所 札幌市中央区南1条西1丁目2 大沢ビル-5F
電話 011-206-7376
http://www.world-spirallife.com

A とにかく心動かされる本がたくさんあって、ゆったりと本が読めます。本も世界各国を取り上げた内容のものも多く、海外にまだ行ったことのない私が、想像で世界旅行に行ける不思議な空間です。

B ランチがおすすめです。体に良さそうなものばかりで、不摂生な私にはとてもありがたいメニューです。

C 初めてこのお店に行った時、朝一からいて6時間くらいお店にいました。その間に読んだ本に感動して、ひとりで若干泣いてました(笑)。



時田“ゾフィー”静花

「Chameleon Label」

“sleepy.ab”や“Addiction”などが所属する札幌の音楽レーベル「Chameleon Label」で毎日走り回る。
http://www.chameleon-label.com/

アジャンタ インドカリイ店

住所 札幌市中央区南22条西7丁目1-11
電話 011-521-7040

A 喰えばわかる説得力。二日酔いが治る。

B 「とり」や「やさい」も然ることながら、「かしみーる」が最強にウマイ。らっきょう付きで、おぼっちゃまくんのことも思い出せる。

C 紆余曲折を経て、愛は味を変えると教えてくれました。



吉田 龍太

「PROVO」

オーナー

住所 札幌市中央区南6条東1丁目2-3F
電話 011-211-4821
http://www.provo.jp

Used Guitar&

Pop'n' Roll bar teenarama!

住所 札幌市中央区南3条西7丁目4-1-6(狸小路7丁目内)
電話 011-233-0569
http://www.teenarama.jp

A 店主のこだわりで仕入れるハイセクснаギターが揃っています。

B 中古ギター屋さんで夜はバーに変身します。ロック好きな仲良し夫妻が営んです。

C 常設されたレコードやCDは自由に聴くことができ、音楽に詳しいオーナーとの会話も楽しいです。



松木 沙織

「TOWER RECORDS

札幌PIVOT店」

住所 札幌市中央区南2条西4丁目 ビヴォ-7F-8F
電話 011-241-3851
http://tower.jp

ニュー東京エゾチック

住所 札幌市中央区南5条西5丁目 すすきの5-5ビル-1F
電話 011-561-6899

A 店長のキャラと料理人(青山学院大学中退?)の美味しい料理と、水曜日限定の女将さん。

B 特に「牡蠣」!海産物一般!

C 店長から直接聞いてみてください。(強から弱まで聞かせてくれるはずです)



山橋 哲栄

フォトグラファー

1977年、札幌出身。スチールカメラマンを経て、現在フリーランスとして活動中。

ウキスキー酒場 STARMAN

住所 札幌市中央区南3条東1丁目
札幌二条市場内 のれん横丁-1F
電話 011-241-5508

A 元役所勤めの異色の経歴を持つ、癒し系の熊みたいなマスターがいます。

B とても飲めたものじゃないほど強烈な匂いを放つ「シングルモルト」が、クセになる旨さです!「くっさい酒ちょうだい!」とオーダーするとマスターがニヤッと笑います。

C いつも店内のBGMがやけにデビット・ボウイばかり流れています。



高橋 邦夫

「Realism」

オーナー

住所 札幌市中央区南5条東2丁目23
電話 011-563-5002
http://www.real-ism.jp

42

io.nesco circo

住所 札幌市中央区南3条西2丁目 TESビル-B1F
電話 011-222-2339
http://www.io-nesco.com

A 僕を担当してくれる大江さんが楽しく、いつもパワーに満ちていて元気をもらえます。ヘアスタイルも自分のことのように真剣に考えてくれます。

B カットにはいつも満足していますが、ヘッドスバも最高です。超リラクセスできます。

C 系列店が4店舗くらいあって、担当の大江さんは店長さんなので、他の店舗をまわっていることがよくちよくあります。大江さんを追って3店舗をまわり、あとひとつで全店舗制覇です。追いかけるくらい頼りにしている方です。



宮本 英一

「シュリスベイロフ」

Vo&Gt

1999年結成、札幌を拠点に活動する3ピースバンド。2011年、3rdアルバム「0.7」をリリース。
http://syurispeillof.jp

43

Oldman's stock

住所 札幌市中央区南1条西4丁目 札幌PARCO-6F
電話 011-211-0348
http://www.oldmans-stock.com

A アメリカントラッドなスタイルが格好いいです。

B ドレスシューズやレザーバッグのクオリティが素晴らしいです。

C スタッフさんにいつも親切に接客していただけてます。



本田 和之

「REAL MONKEY」

スタッフ

住所 札幌市中央区南3条西2丁目17-2 札幌エルムビル-B1F
電話 011-271-0582

TEMPORARY SPACE

住所 札幌市北区北16条西5丁目1-8
電話 011-737-5503
http://kakiten.exblog.jp

A 日常の中で凝り固まった感覚がほぐされてゆくような、素敵な展示や瞬間がたくさんあります。

B とても魅力的な作家の展示が多く見られる空間です。ブログなどを見て気になる展示があったら、一度足を運んでみてください。

C 初めての個展を開いたのがこの会場でしたので、とても思い出深いです。



アキタ ヒデキ

「TOOTOOTOO studio」

フォトグラファー

札幌山鼻在住、平面作家。2008年、個展「点と点と展」より“アキタヒデキ”名義で作家活動開始。写真家、グラフィックデザイナーとしても活動中。
http://akitahideki.com

45

味処 高雄

住所 札幌市豊平区平岸1条7丁目3-6 平岸豊栄ハイツ-1F
電話 011-833-0063

A とにかく何でも旨い!俺の中で一番旨い和食屋!

B 「ホルモンニラ炒め」、「野菜サラダ」、「熟女イタメ」。

C 若き頃、初めて遊ぶ人とデートする時は必ず行ってました!



ジョージ・マッケンジー

「MARUYAMA BASE」

住所 札幌市中央区南2条西18丁目291-31-1F
電話 011-623-5766
http://ameblo.jp/abuman

sinner cafe

住所 札幌市中央区南4条西1丁目
電話 011-241-3947
http://www.sinnercafe.com

A お店の雰囲気が好きですね…かしこまり過ぎず、長時間くつろぎたくなります。

B 「チョコミントシェイク」と「ペーコンエッグライス」です!

C ミーティングなどでよく利用させていただくのですが、数々のスタッフから退職の話をされた、ある意味思い出深いお店です…(泣)。



東出 大輔

「coalmine」

スタッフ

住所 札幌市中央区南3条西1丁目2-1 K3-1ビル-3F
電話 011-271-5853
http://membre-inter.com

to ov cafe

住所 札幌市中央区南9条西3丁目2-1 マジソンハイツ-1F
電話 011-299-6380
http://toov.cafe.coocan.jp

A ギャラリーとカフェ、モダンな空間、ドルーギーな店主。

B 毎回、幅広いセレクトのアート作品の展示。

C ショップカード、構想1年かかった。



佐藤 暢孝

「EXTRACT, INC.」

グラフィックデザイナー

札幌の3ピースデザインプロダクション。
http://www.extract.jp

Outdoor Kitchen Opus One

住所 札幌市中央区南4条西2丁目 セントラルS4ビル-11F
電話 011-231-1288

A ビルの最上階で夜景がきれい。海鮮系中心のメニューも好みで、どれも美味しくて外れがありません。最近、飲みに行く店に迷ったら、だいたいココに行きます。

B 1個100円の厚岸産の「生カキ」。カキ好きにはたまりません。料理も飲み物もリーズナブルで、財布にも優しいです。

C 夜景がきれいなので、女性を連れていくと喜ばれます。合コンを必ず1組は見かけます。



ヒデキ

「SIDE-3」

オーナー

住所 札幌市北区麻生町2丁目5号 コーポ理香-1F
電話 011-756-4520
http://www.toy-side3.com

PIZZERIA DA MASSIMO

住所 札幌市白石区川下2条5丁目2-8
電話 011-875-7116

A とにかくうまい。

B ピザメニューは、2種類だけ。

C よく喋る店主ですが、15年くらい前に旭川で喋ったことのある方でした。



原 ななえ

「FURNITURE DESIGN AGR」

住所 札幌市中央区南6条東1丁目2番-1F
電話 011-533-4149
http://www.agra.co.jp

ハイカラ酒場

住所 札幌市中央区南3条西12丁目
ニュースカイマンション-1F
電話 011-563-8640

A とにかくすべてにこだわっています。

B 「高菜チャーハン」と豊富な芋焼酎がおすすめです。

C 最終的にいつもこのお店で飲んだくれてます。



tana

「Lien hair atelier」

オーナー

住所 札幌市中央区南2条西8丁目5-4 FABcafeビル-3F
電話 011-272-5447
http://lien-lien-lien.jp

50



LIFE
WITH
OUTDOORS

Lafuma Store Sapporo IKEUCHI ▶

今年 2011 年 9 月、国内 3 店舗目となる直営店としてオープンした「ラフマストア 札幌イケウチ」。

フランスで最も長い歴史を誇るアウトドアブランドは、世代や国境を超え多くの人達に愛され続けている。

雄大で豊かな自然環境に恵まれた北海道で、進化を遂げる老舗ブランドが提示するアウトドアの新領域。

▶ photograph Asako Yoshikawa(cocoon photographs)
design Hayato Sakaida(bond graphic)

老舗アウトドアブランドの直営店『ラフマストア 札幌イケウチ』が『イケウチ・ゲート』4階に待望のオープン！



国内3店舗目となる直営店、そして北海道初のオンリーショップとなる『ラフマストア 札幌イケウチ』。ブームの再燃を契機に老若男女問わず、アウトドアが多くの人々のライフスタイルへ根付きつつある昨今、世界的にその名が知れ渡る老舗アウトドアブランド“ラフマ”が、札幌都心部のファッションビルに満を持して登場した。

「このショップは、“ラフマ”の本国にあたるフランス本社のデザインコンセプトに準じてデザインされた、日本で最初の店舗となります。ですから、フランス本国にある“ラフマ”のショップと同様に、床には割れ肌の手洗い石、アクリルで曲げた什器等が使用されています。例外として、木製のデッキが家具の展示用としてデザインされています。これは「札幌の方達にアウトドアライフ以外の日常生活にもラフマの家具を使用して欲しい」との願いから生まれた日本独自のデザインコンセプトとなります。また、海外のデザインコンセプトを日本の内装規格に合わせて表現するために、その素材の選定や素材が変わることによる色の再現等、見えにくいところで様々な工夫がされています。」

環境保護への取り組みも積極的な“ラフマ”の世界観を映し出した店内は、近代的でスタイリッシュな空間でありながら、伝統や歴史に裏付けされた重厚な風格を漂わせている。

「カウンターバックと、フィッティングルームの壁の角に、“ラフマ”の1950年代から1980年代の広告を使用したフレームワークがディスプレイされています。1930年の創業以来同じ場所にあるフランス本国の家具工場や、その工場地元の人達により手作りで組み立てられている家具の写真、1953年の人類初エベレスト登頂を強力にサポートしたシェルパ、テンジン・ノルゲイが“ラフマ”のザックを背負っている写真等が飾られています。歴史ある“ラフマ”ブランドを感じていただきたいと思います。」

製品はメンズ・ウィメンズのアパレル、バックパック、フットウェアなどが幅広く取り揃えられている。デザイン性と機能性に優れたアイテムは、アウトドアはもちろん、ストリートカジュアル、レジャー、旅行など、日常のあらゆるシーンにすんなりと溶け込む。

「今季は“ラフマ”ならではのカラー配色や機能性がとても多く使用されて

います。防水性のある暖かいスノーブーツから防風性の高いグローブ、スタッフサック付きでコンパクトに持ち運びの可能なダウンジャケットまで取り揃えておりますので、アウトドアフィールドからライフスタイルにまでご使用いただくことができます。人気の「ポセトリパーシブルダウンジャケット」はグラフィックプリントが施されており、リバーシブルの2通りで楽しむことができます。」

そして、卓越したクオリティと革新的な技術によって作り上げられるキャンピングファニチャーも見逃せない存在。ユーティリティを第一に考えられたファニチャーは、アウトドアフィールドでも室内でも多様に活躍してくれる。まずは店頭にて直に触れてみて欲しい。

「2012年春には春夏のアウトドアフィールドでご利用いただけるアパレルやバックパックの新作商品の入荷があり、カラフルで機能性のあるアイテムをご覧ください。また、同時期には2012年新作アウトドアファニチャー、ラフマチェアの入荷も予定があります。フランスの洗礼されたデザインとカラーを楽しんでいただけます。」

Lafuma

フランスで最も歴史のある総合アウトドアスポーツブランド。1930年、フランス東部アネロンにてラフマ3兄弟が創業。「フランス流のアウトドアライフ」をテーマに、“美”と“機能”を追求し続けることを理念とし、ハイキング、ウォーキング、トラベル、またデイリーユースまで幅広いレンジの製品を提案。高品質かつ高機能なジャケット、バックパック、トレイルランニングシューズやデザイン豊かなアウトドアファニチャーまでユニークな製品を提供している。

「Lafuma STORE SAPPORO IKEUCHI」

電話 011-281-6251
住所 北海道札幌市中央区南1条西2丁目18 IKEUCHI GATE-4F
営業時間 10:00~20:00
定休日 不定休
ウェブサイト <http://www.lafuma.jp>



ザックに使用したメタルフレームの技術を応用し、アウトドア用折りたたみチェアを開発。以来、キャンピングファニチャーのトップブランドとして君臨している。



背負いやすく耐久性にも優れたザックは、その高い技術性を認めたフランス軍が軍用品として採用。フランス山岳ガイド協会の公式リュックザックとしても承認されている。



アメカジをベースにトレンドや古着を取り入れた
ミックススタイルを提案する『ジェニック 札幌』。
華やかな商品に囲まれた、居心地の良い店内で、
楽しそうな笑い声が響く、夢のようなひと時。
感じるままに、オシャレを楽しむ心のときめきは、
女の子の新たな魅力を引き出してくれる。

ORIGINAL
WOMAN

JENNIC SAPPORO ▶

▶ photograph Tetsuei Yamahashi
design Hayato Sakaïda (bond graphic)

ORIGINAL
WOMAN

JENNIC SAPPORO

オシャレを楽しむ女の子の新たな魅力を引き出す、
セレクトショップ『ジェニック 札幌』がついにオープン!



松井 あゆ子 / 『JENNIC』ディレクター

旭川で地元ファンから根強い人気を誇るセレクトショップ『ジェニック』の札幌店が、都心部から少し離れた郊外にオープン。落ち着いた木目を基調に異国感が散りばめられた店内は、旭川店の面影を彷彿とさせながら、非日常的な楽しさと刺激を与えてくれる。

「内装は独自のアート感覚を世界観として表現するため、床から什器、装飾のほとんどを自分達の手で作りました。いつ御来店いただいてもワクワク感をお客様に感じていただけるよう、ディスプレイはシーズンごとに手作りで装飾を変えています。」

ショップを華やかに彩るアパレル、小物、アクセサリ、雑貨たちは、いくつになっても女の子の心を弾ませ、ときめかせてくれる。

「明るく元気な女性をイメージして、アメリカンカジュアルをベースに、レンドもしっかりと意識しつつ、自信を持って“かわいい”とおすすめできる個性的なアイテムを、国内外からセレクトしています。頭からつま先までトータルでコーディネートしていただくことを念頭において、洋服をはじめ小物、雑貨、アクセサリまで幅広く御用意しています。名前映えのするブランドネームではなく、あくまで世界観や感性を重視したアイテム一点一点でのセレクトにこだわっています。」

発色の良いカラーリングや色鮮やかな柄があらわれた高感度で洗練されたアイテムは、オシャレを楽しむ女の子達の眠っていた新たな魅力や表情を引き出してくれる。

「最先端の流行を追いかけることはありませんが、その時々々の時代感はセレクトへ反映しています。時代のサイクルと共に'60～'80年代の流行を取り入れ、現代をプラスしたアレンジスタイリングがこだわります。当時の古着と今のトレンド新品商品をミックスしたコーディネートには特に力を入れています。古着はヴィンテージワンピースなど、リーズナブルに全身コーディネートを楽しんでいただけたらと思います。」

特別感がありながら、日常にも着まわすことのできる一枚は、コーディネート

の幅を広げてくれるはず。その時々々の環境や気分に合わせて表現されるスタイリングは、もしかすると本当の自分を呼び覚ましてくれるかもしれない。「ロサンゼルスのリメイクブランド“プア”によるコラボレーション商品は、自分達で企画から発注まで手掛けている、生地はヴィンテージやアメリカ製の面白い柄ものを使用しています。特にこだわっているのはシルエットです。ウエストが細く見えるよう、全体のデザインや着丈も考え、日本人の女性に合わせて作ってもらっています。もともとオリジナル商品を始める意識はなく、せっかく買い付けてきた古着を一枚も無駄にしないよう、自分達で補修やリメイクを施していたんです。そのうちに、信頼できるデザイナーさんとの運命的な出会いから、より世界が広がりました。」

ライフスタイルに彩りと喜びを与えるファッションの持つ力を信じて、これからもひとりひとりの女の子と向き合い会話をしていく。

「カラフルなアイテムや柄のタイツを使ったポップな80'sコーデ、イベントなどのお出かけにはチェーンバッグをプラスして女の子っぽさを出してみたいかどうでしょうか。来季は、スカーフやスカーフ柄に注目しています。春らしいパステルカラーやヴィンテージウォッシュ、古着加工のシャツ、タイダイ染めのデニムなどにも気になりますね。今後も自分らしいスタイルにこだわり、他店には無い商品を御提供していきたいと考えています。」

インフォメーション

<札幌店>年内営業 29日18:00まで / 初売り 1月3日スタート
<旭川>年内営業 30日18:00まで / 初売り 1月2日スタート

『JENNIC 札幌店』

住所 北海道札幌市中央区北2条東3丁目2-9 天坂ビル-1F
営業時間 12:00～20:00
定休日 水曜日
電話 011-251-5152
ウェブサイト <http://www.jennic.jp>
ブランド purrr / BAD / PARL / Rape*ie / 古着

GOOD DAY PEOPLE

Kanami Sunahara

(MISANGA INTERNATIONAL)

札幌のセレクトショップ『ジュイエ』や『ワウレトロ』など、人気ショップ数店舗のバイヤーを務める砂原果さん。国内外を飛び回り高感度で上質な商品を集める他、各店舗のディレクションも行うなど多忙な日々を送る彼女。新たな価値観とライフスタイルを創り出すバイヤーとしての舞台裏、そしてプライベートでの魅力的な素顔に迫る。

photograph Tetsuei Yamahashi
design hideki Akita (TOOTOOTO studio)

砂原 果 / 『ミサンガインターナショナル』バイヤー

>まずは現在の会社へ入社されるまでの経緯から聞かせてください。

高校を卒業してすぐに、地元の洋服屋さんで1年半くらい働いていました。もともと古着が好きで、「自分で古着屋さんを開きたい!」という若かりし頃の夢があったんです(笑)。その頃に通っていたのが地元の古着屋さんだったんですけど、その世界にどっぷりハマってしまっ。でも、どのショップも素敵な個性があるのですが、少しずつ自分の思い描くものと違ってきて、そのうちに「自分で海外へ行ってバイキングしてみたい!」という目標ができたので、仕事を辞めたんです。ちょうどその時に「チョコムー」(※1)のマユミさんを尋ねて、「自分でお金を出すので同行させてください!」とお願ひしていると、「マグネティックモンスター」(※2)のコウさん(※3)から「アルバイトしてみない?」と誘われたのが現在のオーナーとの出会いでした。

>古着が出会いをつなげてくれたんですね。

話を聞くと「友達の古着屋が函館で催事をやるから、その店番を頼まれて欲しい!」ということで、面接という名目で札幌へ行ったんですけど、オーナーが1時間以上遅れてきて、「ごめん…二日酔いで。」って(笑)。それが初めての出会いでした。催事はもともと1ヶ月の予定だったんですけど、売上げが悪すぎて、経営的にはすぐにでも畳んでしまいたいほどひどい結果でした。でも、私自身がすごく悔しくて、「もう少しだけ続けてさせてください!」とオーナーにお願ひして、もう一度機会を与えていただきました。

>催事から「マシュマロ」というショップとして改めてオープンされましたが、当初は苦労されたようですね。

売上げが1日1万円もいかず、私の給料をいただいて何も残らない状態で、赤字に耐えながらずっと頑張っていました。他にスタッフを雇えるほど余裕も無かったので、オーナーと河田さん(※4)が交代で私のお休みをまわしに来てくれて、1年経つくらいにようやく軌道に乗ってきました。それで、今度は「もし月100万円売上げたらバイキングへ同行させてください!」とお願ひしたんです。

>それが初めての海外だったんですか?

そうです。忘れもしないですね。ロサンゼルスへ連れて行っていただいたんですけど、レンタカーでアリゾナへ7時間かけて行って、スリフト(※5)をまわってという過酷な買い付けだったんですけど、カルチャーショックを受けましたね。

>イメージと現実ではギャップがありますよね。

あの時は平均睡眠時間が3時間とかでしたね。かなりの重労働で、掘って掘って、ようやく1枚出るみたいな感じで、商品になりそうな物が全然見つけれなくて。物を見すぎて、だんだんわからなくなってくるんですね。とにかく倉庫が一番驚きましたね。莫大な量の中から1000枚見て1枚抜くような状態で、「古着って本当に出会いだな」と改めて実感しました。初めてのバイキングから帰ってきた時は、自分がそんな想いをして探してきた物なので、「全部売れる!」という根拠のない自信に満ち溢れていましたね(笑)。

>その自信が大事なのかもしれませんね。

その時はありがたいことに売れてくれたんですけど、2回目のバイキングで挫折を味わいました。やはり古着は出会いなので、初めての時はその機会に恵まれていたんでしょうね。あと、初めての時には無かったのですが、自分の中でライン引きというか、考えすぎて迷いが生じて、思うように買えなくなってしまったんです。それはすごくショックでした。

>仕事として行ってるからには、商品を集めなくてはダメですねよ?

そうなんです。しかも、函館と札幌の店舗の分を集めなければならなかったのが責任重大でしたね。2回目で挫折を味わって、次に行く時にはフラットな状態にして行こうと気持ちを切り替えて、4回目にはひとりで行きました。ひとりと言っても「チョコムー」のマユミさんとだったんですけど、憧れのショップのオーナーさんと一緒に買い付けへ行けるというのは不思議な感覚でしたね。すごく良い勉強になりました。

>バイヤーとしてどのような基準で商品を集められていますか?

始めの頃は「本当に好きなものでなければ熱は伝わらない!」という想いもありましたけど、経験を積むうちにいろんなことを考えるようになりました。自分の好きなものだけが良い悪いではなくて、好みでないものにも良いものはたくさんあるので、現在はショップとしてのマーチャンダイジングに基づいた判断をしています。このアイテムを仕掛けていこうという提案が強くなったかもしれないですね。

>ショップで提案されているシーズンごとのテーマはあらかじめ考えられているのですか?

多少なりとも考えています。仕入れ先のディーラーからも「今年は全国的にコレをどのバイヤーも買っていきよ!」みたいな情報を聞くので、全く無視はしません。その流行が自分達の雰囲気や当てはまるのなら柔軟に取り入れたいと考えています。

>そして、テナントから路面店へと移転し、現在の基盤となる「ジュイエ」としてオープンされました。

もともと路面で展開するのが目標でした。当時は「古着=子供が着るもの」というイメージが定着していたので、そういう概念を取り払うためにも、路面店でしっかりとした世界観を打ち出したかったんです。そのためには既存の形態では限界があって、物件を1年くらい探し続けていました。函館で路面店となると、あの街並みを活かした古き良き建物というのが、私もそうですし、オーナーの願ひでもありました。なかなか見つからなかったのですが、ある日ようやく出会ってオープンに漕ぎ着けることができました。

>路面店へ移転されてからは、セレクトにおけるヨーロッパの比重が大きくなりました。

そうですね。古着は高校生の頃から好きだったんですけど、

やっぱり自分にとって古着がファッションへの入り口でした。当初は「花柄のワンピースがかわいい」と単純に古着を楽しんでいましたが、そこから突き詰めていくうちに、その物に背景をもっと知りたくなってきたんですね。化粧、髪型、音楽、全てなのですが、突き詰めていった先に自分の好きなものの頂点に辿り着くじゃないですか。同じように、アメリカ古着から入って、サイケやフィフティーズとか、いろいろと見たり着たり、背景を調べて行って、最終的に辿り着いたのがヨーロッパの古着だったんです。

>憧れのヨーロッパへ行かれてみていかがでしたか？

奥深さを感じました。実際に現地へ行ってみると、見たことも触れたこともないような全く知らないことばかりで、「100年以上前からこんなにも素敵な洋服を着てたんだ!」という驚きと感動ばかりでした。ヨーロッパでは古着が高級ブランドのような扱いで、蚤の市へ行ってガラクタを売るという感覚ではないんですよ。物に対しての愛着がすごく強いように感じます。その分、物の質は良いけど価格が高いという問題も出てきました。お客様からすると、「どうしてこんな高いの?」という疑問があるかもしれませんが、商品の価値と現地の空気をどう伝えていかを考えるようになりました。でも、テンションはすごく高かったですね。

>そして、念願だった路面店を経て、現在の札幌へ移転された経緯を聞かせてください。

当時はヨーロッパ古着を仕入れているショップも、函館にはありませんでしたし、札幌でもまだ少なかったんです。ショップとしては順調に伸びていたのですが、ショップの世界観をさらに突き詰めていきたいという想いが生まれてきました。そうすると、現状とニーズが折り合わずにズレが生じてきてしまっていたんですね。ちょうどその頃に、一緒に頑張ってきたもうひとりのスタッフが辞めることになって、この先どうしようか考えていたのですが、これを機にもっとコンセプトualで、函館だけではなく、北海道全域や全国へ向けて展開していきたいと考えようになりました。そのタイミングで札幌でやってみないかという話をいただいたんです。

>ショップとして大きな転機でしたか。

今になって考えると、いきなり「ステラプレイス」ってすごいですよ。でも、まだそのすごさを全く理解していませんでした(笑)。函館のお客様は、販売員とお客様という枠を越えてつながってくれている方も多くて、寂しい気持ちもあったのですが、でも札幌へ行くこと決めた時は、それを乗り越えて「次はどんな人達と出会えるんだろう」という期待の方が大きかったですね。

>環境の変化に戸惑いや苦労も多かったのでは？

やっぱり田舎者なので、人の多さには戸惑いましたね(笑)。接客ひとつにしても、それまで経験してきたやり方とは全く違いました。函館では、お客様というんな会話をして、一緒に洋服を選んでという、ひとりひとりじっくり向き合った接客だったのですが、札幌では同じやり方は通用しませんし、だからといって私達の店舗では説明がないと納得していただけない商品も多いので苦労しました。

>バイヤーとして、どのように知識やセンスを磨かれているのですか？

雑誌やインターネットはよく見えています。ブランドの展示会や海外の現場でも刺激を受けますね。流行は海外と日本で全然違いますが、その時々でなるべく早く感じるよう努力しています。

>流行をある程度とらえながらも、独自の感性によるスタイルを提案されていますね。

シーズンごとにクローゼットの中身を全部買い替える人なんて絶対いませんし、そのシーズンを楽しむ物と、永く着続けている物とがあると思うんです。自分の思い描くお店は、お客様の“クローゼット”が見えて、そこへ提案をさせていただけるショップでありたいんですね。

>入社されてから特に印象に残っていることはなんですか？

たくさんあり過ぎるのですが…やはり上司達の行動力ですね。取引先の方達とお話した際にもよく話題に上るのですが、あの有言実行する行動力はなかなか真似できません。そして、私達の会社は本当に人に恵まれていると感じています。やはりショップは店単体だと7割で、そこに立つスタッフが加わって初めて100%になると思うんです。人に人が付くというのがすごく重要で、スタッフもひとりひとりに対して尊敬ができる人材が集まっていて、みんな自ら行動しようとしているんですね。だから、私はあまりあれこれ言わないようにしているんですけど、みんなからは何も言わない人だと思われているかもしれないですね…(笑)。でも、言われたことをただやっているだけだと覚えられませんし、身にならないと思うんです。例え失敗したとしても、その中から何かを気が付けて学んで欲しいんですね。

>ところで、プライベートではよく飲みに出かけられているそうですね。

自分では行かない方だと思ってるんですけど、でも周りからはよく言われます(笑)。私はファッションも好きなんですけど、飲食もすごく好きなんです。飲食店こそセンスの集まりで、アパレルとも共通する部分も多く感じます。それこそファッションと同じで、気になるお店はいろいろまわってみて、自分が好きなお店へ通うようになるんですよ。

>昔は一晩でテキーラを何本も空けられていましたが…(笑)。

年に数回お祝いごとがあったりした時だけですけれど…(笑)、あれがあるからこそ関係が深まるんですよ。普段飲みに行って出会う方もそうですが、結局、最後に残るものは人脈でしかないと思うんです。それを深めたいから外へ出ているんでしょうね。

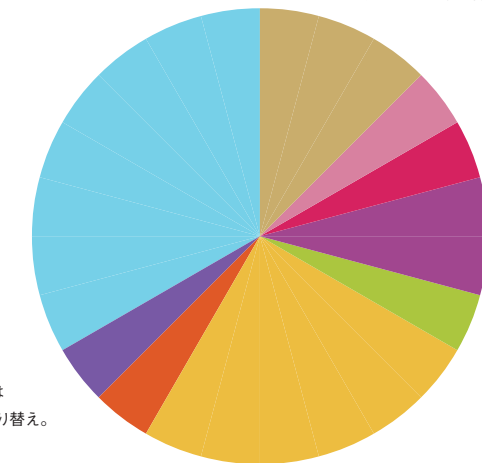
- ※1 函館市の古着屋。
- ※2 函館市の古着屋。現在は惜しくも閉店。
- ※3 元『マグネティックモンスター』オーナー。現在は「函館豚井ポルコ」店主。
- ※4 ミサンガインターナショナルのディレクター。
- ※5 アメリカの非営利団体によるリサイクルショップ。

Konomi Sunahara DAY SCHEDULE

26:00 就寝

22:00 退社

プライベートタイムは
仕事後の一杯で切り替え。



21:00 閉店

レジ締め、売上報告、
ブログをアップ。

16:00 店頭

状況に応じて店舗巡回、入客が多くなる夕方からはなるべく店頭立ち接客、空いた時間にスタッフとお客様の情報や近況など、こまめにコミュニケーションを計る。

9:00 起床

まずは天気をチェック、
応じて売り場の打ち出しを考える。

11:30 出社

店内掃除後、メールチェックと対応。

12:00 開店

スタッフと一日の動向に関してミーティング、
ディスプレイチェンジ、ブログ画像を撮影。

13:00 業務

各データの打ち込み・集計・整理、
在庫状況把握・取引先の方との商談。

15:00 昼食

オーナーとミーティング後、
各店店長に指示を促す。

Konomi Sunahara WEEK SCHEDULE

MON

オーナーと次の海外出張についてミーティング。ここ数年は新規ブランドを探すべく、ファッションウィークになるべく合わせて飛んでいるが、簡単には見つからない。自分の足で探したアイテムは、その魅力に辿り着くまでの物語が加わり、さらに愛情が湧いてくる。バイヤーにとって探究心と行動力があってこそ出会いにつながる。

TUE

週に1〜2日店頭へ立つ「ジュイエ」へ出勤すると、タイミング良く函館時代のお客様が御来店。早くも数年が経つにも関わらず、移転してからも多くの顧客様達がわざわざ足を運んでくださることに感激!「やっぱりこのショップで買うものは間違いない!」という言葉がなにより嬉しく、元気をいただいている。

WED

今日は休日! 女友達3人で日帰り温泉旅行! お客様から「すごく良いよ!」と御紹介していただいた定山溪「森の詩」へ。このビュッフェは和洋中どれをとっても美味しいし、まるで森の中で食事をしているような気分になる。景色も最高! ランチ&昼ワインの後は入浴でリフレッシュ! 生き返ったみたい。

THU

来春の展示会のため、東京日帰り出張。中でも印象深かったのが、「メゾン・ド・ソイル」のブロックプリント。インドの伝統的なプリントで、その柄を生み出す木版を見せていただいた。職人が手彫りで丁寧に型を起こしていき、その木版を隙間無く手押ししてひとつひとつ生地に押ししていくことで総柄の生地を作っていくそう。計り知れない時間と手間が掛けられた、ハンドメイドならではのぬくもりが感じられる。

FRI

今日出会った素敵な“器”は、黒釉のぎ血で京都の作家さんのものだそう。早速ちょっとしたお総菜を盛ってみると、たちまち高級感溢れる一皿に。最近はいかに美味しく魅せるかという演出にも興味がいっている。

SAT

インポート等を扱うお取引先のH氏が来札。氏との出会いは函館時代の店舗へ突然営業にやってきた4年前に遡る。あの時はお断りをさせていただいたのに、今となってはセレクトの1/3を担うほどお世話になっている。近年、伝統的な物づくりをする職人が少なくなっている現状や消えゆく工場、糸屋など、とても興味深く他人事とは思えない話を伺えた。

SUN

先日購入したアンティークのダイニングテーブルが届いたので、女子スタッフを招いて我が家でホームパーティー。よくこうやって集まって飲み会を開催するくらい、うちの社員はみんな本当に仲良い。最近ブームの“褒め合い”が深夜まで続く(笑)。

MISANGA INTERNATIONAL
MY STANDARD COLLECTION
2011-2012 WINTER

人気セレクトショップのバイヤーを務める砂原果さんが、
系列店スタッフを自らスタイリング。
各ショップのコンセプトや最新アイテムを活かして、
今の気分を表現したコーディネートを披露。
トラッドを取り入れたメンズライクな着こなしの中にも、
洗練された女性の美しさが輝いています。

styling Konomi Sunahara (MISANGA INTERNATIONAL)
photograph&design hideki Akita (TOOTOOTO studio)



小松 未奈 / 『wow retro sapporo』スタッフ

—
ヴィンテージ・ブラックジャンプレー・ジャケット / スタイリスト私物
ロングワンピース / ¥16,590-
レースアップ・ブーツ / スタイリスト私物
ハット / ¥6,195-

> 今回の着こなしについて感想を聞かせてください。

私の目線にはない、違った視点からのコーディネートはかなり新鮮で、シックで大人な中に女性らしさが覗くスタイリングが面白かったです。今後の自分のコーディネートにもどんどん取り入れていきたいです。

> コノミさんの印象について聞かせてください。

芯のある女性というイメージで格好いいです。面と向かって言うのは恥ずかしいですが…(笑)、かなり尊敬しています。

> コノミさんとの印象に残るエピソードがあれば教えてください。

私がショップで働き始めたばかりの頃、ちょうど『ワウレトロ』の2周年のパーティーでお会いしたのが初対面でした。入社したてでガチガチだったので、何を話したのかははっきり記憶がないのですが…(笑)、とても優しく接していただいたのを覚えています。その当時のコノミさんはまだ髪が長く、今はまた違う印象でしたね。

> コノミさんへメッセージをお願いします。

いつまでも明るくまっすぐで、ビールを飲む時の素敵な笑顔を忘れないでいてください!

『wow retro sapporo』
住所 札幌市中央区南2条西1丁目
電話 011-271-2127
ウェブサイト <http://wowretro.com>



本間 翔好/『ARCH HERITAGE Le SALON』スタッフ

コート/Vlas Blomme/¥44,100-
トップス/kitica/¥17,850-
ショートパンツ/Local/¥19,950-
ストール/Faliero Sarti/¥28,350-
ブーツ/CHIE MIHARA/¥54,600-
タイツ/MARCOMONDE/¥4,830-
ネックレス/CERASUS/¥23,100-
プレスレット (右手)CERASUS/¥11,550、(左手)CERASUS/¥16,800-

>今回の着こなしについて感想を聞かせてください。

ナチュラルな印象の“グラスプラム”のコートに、あえてショートパンツを合わせた「ル・サロン」らしいコーディネートだと思います。

>コノミさんの印象について聞かせてください。

物事をじっくり考える方で、適当に流したり答えたりは絶対にしません。

>コノミさんとの印象に残るエピソードがあれば教えてください。

いつも酔っぱらっているのが覚えていません。コノミさんも私も酒豪です。

>コノミさんへメッセージをお願いします。

働き過ぎて体調を崩さないようにしてくださいね!

『ARCH HERITAGE Le SALON』
住所 札幌市中央区南1条西3丁目3 PARCO-3F
電話 011-281-4280
ブログ <http://archheritage-le-salon.blogspot.com>



高崎 美穂 / 『JUILLET』スタッフ

—
ファースト・スタンダードデニム・オープンシャツ/Daily Wlrdrbe Industry/¥17,850-
ワイドネックニット/Nor' Eastery/¥12,600-
ユーロ・リーバイス 501/¥13,440-
US・ヴィンテージ・バンダナ/¥1,575~

>今回の着こなしについて感想を聞かせてください。

デニム・オン・デニムがクールな印象です。上級アメリカンなイメージと思われる上下デニムも、同じトーンのカーディガンを差し込むことで、意外にも小ぎれいにまとめることができます。首元に染めのバンダナやスカーフを挿すのがポイントです。

>コノミさんの印象について聞かせてください。

ひと言で言うと、朗らかな笑顔とお酒…(笑)の印象です。個人的には、店内のディスプレイやコーディネートなどの感性が素敵だと思います。毎回、自分には思いつかないアイデアにはっとさせられます。また、それが見事に私好みであったりします。

>コノミさんとの印象に残るエピソードがあれば教えてください。

過去2回の函館での催事に私も同行させていただいたのですが、函館へ行く度に地元・函館の人達から本当に慕われ、愛されているなあ…と実感させられます。会場へ来てくださる方々はもちろん、仕事後に飲食店など行く先々でその人柄を表すエピソードを耳にします。そんな人と人とのつながりによって今日の「ジュイエ」があると思うと嬉しく感じています。

>コノミさんへメッセージをお願いします。

これからもコノミさんのバイイングに期待しています!

『JUILLET』

住所 札幌市中央区北5条西2丁目 札幌ステラプレイスEAST-B1F

電話 011-209-5448

ブログ <http://juillet7.exblog.jp>



徳永 麻美 / 『ARCH HERITAGE WOMENS』

—
ジャケット/TOUJOURS/¥51,450-
シャツ/BENNETS LANE SHIRT/¥18,690-
パンツ/FRANK LEADER/¥50,400-
ストール/Johnstons/¥54,600-
シューズ/TN29/¥39,900-

> 今回の着こなしについて感想を聞かせてください。

トラッドで、パッと見るとかなりメンズライクな雰囲気なのですが、だからこそ女性らしさが際立つ、大人の着こなしですね。シンプルで、ひとつひとつの上質さが引き立てられているスタイルだと思います。

> コノミさんの印象について聞かせてください。

とにかくバワフルです!

> コノミさんとの印象に残るエピソードがあれば教えてください。

いろいろあるのですが…まだ会社に入社する前、自分の今後について迷っていた時、夜な夜な洋服や将来について語ったことがありました。コノミさんとの出会いが、自分にとっての“転機”だと思っています!

> コノミさんへメッセージをお願いします。

いつでも笑顔でどっしりしているコノミさんは、私にとって尊敬する大好きな姉さんです。これからもよろしくをお願いします!

『ARCH HERITAGE WOMENS』
住所 札幌市中央区南4条東1丁目9-3 米村屋ビル-2F
電話 011-281-5560
ウェブサイト <http://www.arch-heritage.com>

matiere naturelle plus REAL CLOTHES IN THE LIFE

年代を超えて愛され続ける、上質で洗練された日常着。
流行にとられない、自分らしさへのこだわり。
その女性は、飾らない美しさとしなやかな強さを兼ね備えている。

photograph hideki Akita (TOOTOOTO studio)



Work Style

浅野 晶子 / 『matiere naturelle plus』スタッフ

ニットカーディガン/Hermaphrodite/¥18,900-
タートル/homspun/¥5,775-
スカート/RED CROVER/¥17,850-
ベレー帽/meri ja kuu/¥4,725-
シューズ/私物

店名にもなっている“マティエ・ナチュレ”は、フランス語で“天然素材”を意味しているのですが、シンプルでベーシックな洋服は、日常生活で永く着ていただけます。お仕事で大切にしてほしいのは、やはりお客様とのコミュニケーションですね。お客様の好みや求められているものを共有して、以前に買われたものと合わせられるアイテムを御提案できるよう心掛けています。

スタッフとして店頭では柔らかな色合いと素材感を合わせて、ナチュラルに着ることを意識しています。仕事も休日も基本的にはあまり変わらないのですが、先入観を持たず、自分に似合うものを選ぶようにしています。色使いやサイズはもちろんなのですが、その時の気分や直感も大切にしていますね。

Pick Up Blog - <http://blog.s-bbd.com/>



* meri ja kuu 小物 *

2011.09.07 Wednesday



昨日チラッとお見せしていたコチラ本日はご紹介致します！

◀

鏡餅のようなコチラはmeri ja kuuから入荷しましたベレー帽。

色合いがソフトで、さらに見た目からも素材の柔らかさが伝わってきます*

◀

小さなロゴ入りです。

丸い石の真ん中に木の取手が付いた石臼のような形…をイメージしたベレー。クッタリしていて頭の形になじむため、被りやすいです。

◀

いつものコーディネートにプラスするだけでグッと引き締まります*

◀

meri ja kuu ベレー帽
カラー ivory・beige・purple・navy
¥4,725



『matiere naturelle plus』
住所 北海道札幌市中央区南2条西4丁目 PIVOT-3F
電話 011-231-7033
ウェブサイト <http://s-bbd.com>

「こだわりの日常着で何気ないオシャレ」をテーマに、ドメスティックブランドのウェアを中心とした、インポートのアウトター、バッグ&シューズ、雑貨等を取り揃え、普段着の中で心地良く使いこなせるアイテム群による、自由で軽やかなスタイリングを提案している。

Off Style

浅野 晶子 / 『matiere naturelle plus』スタッフ

Pコート / UNACA / ¥38,850-
マキシ丈ワンピース / UNIVERSAL TISSU / ¥20,790-
ショール / JAMIESON'S / ¥9,240-
バッグ、ブーツ / 私物

休日はゆるりと楽に着られるものを選ぶことが多いです。今日は寒かったので、ニットショールを掛けたあたたかい着こなしにしました。洋服は肌に直接触れるものなので、麻、シルク、綿など、なるべく化学繊維が使われていない、上質な素材の物を身に付けるようにしています。着やすさはもちろんなのですが、気分的にも心地いいんですね。

休日は家でゆっくり過ごすことが多いですが、街へ出かける時には友達とご飯を食べに行ったり、あちこちでショッピングを楽しんでいます。最近は圧力鍋を使った料理にハマっていて、煮物や角煮を作ったりしています…地味ですけど(笑)。今年の冬はまだ初心者なのですが、スノーボードへ行きたいですね。

Pick Up Blog - <http://blog.s-bbd.com/>



* Jamieson's *

2011.12.02 Friday

- Jamieson's - 1890年代初頭から4代にわたり世界的にも有名なシェットランドニット製品を作り続けているジャミーソンズ

◀

スコットランド地方のシェットランド諸島にのみ生息するシェットランドシープの羊毛を使いクラシカルでトラディショナルなニットウェアを作っています。お店でアルバムをご覧になった方も多いかと思いますが、待ちに待ちすぎた入荷です。丁度雪も積もって寒くなったので重宝しますよ

◀

大判なのでガッチリ巻いてポンチョのようにも使えます♪

おうちの暖かラグとして…、職場の膝かけにして…室内でちょっと寒い時にサラッと羽織ってもオシャレ

◀

チェックはベージュ、グリーン

ボーダーはブルー系、オレンジ系の4カラー

◀

Jamieson's ニットラグ ¥9,240





motif

OBIHIRO *REAL* STREET

独自のカルチャーを創造する帯広ストリートの現在をフューチャー。
 厳しい環境にも耐え忍びながら、ショップはたくましく力強く街に寄り添う。
 確かに灯されるその光は、シーンの大きな役割を担っていることを証明する。

photograph Hideki Akita (TOOTOOTO studio)

加藤 渉 / 「motif」オーナー

> ショップのコンセプトについて聞かせてください。

昨今の量販系の子供服屋さんと差別化して、親子で一緒に楽しんでもいただけるセレクトを意識しています。1店舗目となる系列店「ピースロックストア」のオープン以来、今年で10年という歳月が流れる中で、お客様にも結婚をされて、お子様を授かった方が数多くいらっしゃいます。当店では親と子でファッションの楽しさを共有していただき、親から子へファッションの楽しさを伝えていただきたいと考えています。

> 全体の商品構成やおおすすめのブランドを教えてください。

当社「クローク」の仙台支店「ジョンズ・グラフィックス」のオリジナル・キッズブランド「モーティブ」を軸に、カラフルでベーシックなアイテムを展開しています。全国的にも人気が高い「エックスガール・ステージス」や「ミルクフェド・キッズライン」など洋服や小物をはじめ、フランス発のトイメーカー「サッシー」など玩具や雑貨も取り揃えています。プレゼントやお使い物としても喜ばれているようです。

> オリジナル・キッズブランド「モーティブ」について聞かせてください。

アルファベットの「モチーフ」が基になっていますが、「モーティブ」の表記は造語で、自由さと遊び心を表現しています。ブランドとして特にこだわっているのが、発色の良いカラーリングや独創的なグラフィックで、大人の方にも楽しんでお選びいただけるよう気を配っています。

> ショップの特徴やこだわりについて聞かせてください。

隣接したレディースのセレクトショップ「ルーシー」と相反するイメージで、商品はもちろん、内装や仕器もカラーリングして、すべてカラフルにしました。遊び疲れて眠ってしまったお子様の夢の中でも、おもちゃ箱のような賑やかで楽しい雰囲気を楽しんでいただけると嬉しいです。

> ショップで注目したいポイントなどは教えてください。

店内のあちこちには動物の小さなフィギュアが隠れています。いくつ見つけられるか、ぜひ親子で探して

みてください。子供達に楽しんでいただくための仕掛けを考えるのはすごく楽しいですね。また、隣には公園もあるので、夏にはブランコに乗ったり、外で走り回って遊ぶこともできます。ショッピングと共に、お子様との時間をゆっくり過ごしていただければと思います。

> 今後の展開について聞かせてください。

近い目標としてオリジナル・キッズブランド「モーティブ」を全国へ展開していきたいと考えています。地元発信にこだわり、焦らずじっくり地盤固めをしていきたいですね。

「motif」

住所 北海道帯広市西4条南4丁目20-2
 営業時間 11:00~20:00
 定休日 第2・3火曜日
 電話 0155-21-2815
 ウェブサイト <http://www.mytokachi.jp/motif/>

ブランド X-girl Stages / XLARGE Kids / MILKFED kidsline / motif / SASSY / LAMAZE / SIKU / THE DEGLING



interplay

JOHN' BRYCE APARTMENT

塩浜 尚人 / 『Interplay』スタッフ

>御無沙汰しています!まずはショップの近況から聞かせてください。

今日も商品ががっつり入ってきていますけど、時期的に冬物のアウターが大量入荷中です。最近では気温が一気に下がったので、各ブランドの定番やイチ推しのアウター類がよく動いていますね。

>今季は具体的にどのようなアイテムが人気ですか?

無骨で男臭いストリート、アメカジブランドがメインのセレクトなので、ミリタリーやワークをベースに、スタジャンやミリタリー物、レザージャケットだったり、やっぱり定番アイテムが安定した人気です。最近ではブランドに分けて少しずつ幅広い年齢の方々に御来店いただけるようになってきました。

>帯広のファッションシーンをどのように捉えられていますか?

ショップごと各々に個性が出ていると思います。良い意味でローカルな地元の特性を生かして、なるべく個々のお客様の顔を覚えて仲良くなれるよう心がけています。徐々にではありますが、洋服だけでなくクラブやライブへ遊びに行ったり、ショップの枠を飛び超えてプライベートでも付き合ってもらえる関係も築けてきた

ので、そうした機会を大切にしていきたいです。

>帯広の若者はどういうところへ遊びに行っているのでしょうか?

昼間はショップにいるので何とも言えませんが、夜はこの時期も活気があると思います。バーやカフェでゆっくり飲めたりもできるし、そこから音楽が聴きたい時はクラブなどにも足を運べると思います。

>独自に試みていることは何かありますか?

オープン以来、ここ数年でいろいろな人やモノから影響を受けてきました。まだまだ経験不足などところたくさんありますが、尊敬できる先輩や友人、また後輩にも助けられてきた気がします。そんな場面から自分の初心に帰ることを教えてもらった機会があり、今はショップをオープンさせたかった当時を思い出して、原点回帰の気持ちが強くなっています。だから新しく何かを始めるといよりは、ファッションも遊びも、“ストリート”をメインに続けていきたいですね。

>帯広ではストリート系のショップが少なくなってきましたね。

自分自身はもう30代も半ばに差し掛かるので、若い子達と一緒にもっと街全体が盛り上がるよう頑張っていきたいです。

>地方カルチャーはショップも大きな役割を担っているのでは?頑張ってください。応援しています!

ありがとうございます。昨日もパーティーがあったんですが、酒が弱くせにまた朝まで飲んじゃいました(笑)。まあ、仕事も遊びもできる先輩がたくさんいるので自分もそうなりたいですね。

—
レザージャケット/CALEE /¥105,000-
ワークシャツ/RADIALL/¥17,640-
チノパンツ/CALEE/¥17,220-
ウールハット/CALEE/¥15,750-
レザーウォレット/CALEE/¥44,100-

『interplay』

住所 北海道帯広市西2条南9丁目2-1

WEST209ビル-1F

電話 0155-26-3321

ウェブサイト <http://www.interplay-web.net>

早坂 拓馬 / 『JOHN' BRYCE APARTMENT』スタッフ

>…。(マユ毛の薄さにしばし動揺する) …?

>(気を取り直して)撮影、お疲れ様でした!大胆な露出でしたが、スタイリングのテーマはありましたか?

今日のテーマは「裸の王様」です。男性のセクシーさをワイルドに表現してみました。

>広大な大自然をロケーションに、純白のブリーフと靴下だけで荒馬に股がる姿が印象的でした。

思わず体の一部が熱くなってしまいましたね。ふんどしで太鼓を叩くシーンも自分では気に入っています。

>撮影中、裸に見えることもありましたが…?

追真のポーズでしたので、もはや裸に見えてしまっていたかもしれませんね。

>っていうか、裸でしたよね?

いやいや、僕はこの界限でも相当な硬派で通っていますから。脱ぐのは惚れたオンナの前だけです。(キリッ)

>(無視)ところで、スタイリングでいつも心掛けていることはありますか?

オシャレを楽しむことです。あと、人から見られるのは常に意識しています。(鏡にポーズを取りながら)

>(小さく舌打ちして)実際のところモテそうですけど、好みの女性のタイプを教えてください。

若い女性より熟女が好きですね。好みのタイプは“ヒラリー・クリントン”さんです。

>しかも、そこ…!?またまたあ、ネタでしょう…?

いえ、年上の前では自然と赤ちゃん言葉が出てしまいます。(さわかやかに、はっきりと)

>…。(…コイツ、マジか!?)…じゃあ、特技とかありますか?

テキーラを飲んで、全裸になります。(さっぱりと、誇らしげに)

>アパレルスタッフなんだから着てください、洋服を。

※写真はイメージです。

—
スタジアムジャケット/OVERTHESTRIPE/¥79,800-
j.v.e.p!ドゥプリニット/jevous enprie!/¥9,450-
フェリックスシャツ/OVER THE STRIPES/¥18,900-
ヴァンテージ・ブロークン・リベア・
デニムパンツ タイプB/M/¥42,000-
ワークキャップ/Enhance Element/¥14,700-

『JOHN' BRYCE APARTMENT』

住所 北海道帯広市西1条南8丁目20(広小路内)

電話 0155-26-3382

ウェブサイト <http://www.mytokachi.jp/cloak>



北海道発オリジナルブランド“スモーキーウッド”直営店にレディースセレクトフロアが登場。メンズは原点回帰のストリートスタイルを、レディースは自由で個性的なスタイルを提案。

JOHN' BRYCE APARTMENT

加藤 渉 / 『JOHN' BRYCE APARTMENT』オーナー

＜ショップのコンセプトについて改めて聞かせてください。＞

現在、全国展開をしているオリジナルブランド“スモーキーウッド”の直営店として、また道東から北海道全域に広く発信していけるようなセレクトを主軸に展開しています。

＜リニューアルで注目したいポイントを教えてください。＞

前身のショップ「シグナル」と比べて大きく変わったのは、やはりレディースの充実ですね。市内中心部に展開することで、より多くの方にご来店いただける店舗になっています。1Fにメンズ、2Fにレディースとフロアを分け、商品量も昨年よりさらに豊富になりました。オープンにあわせて新規で取り扱いを始めたブランドが多く、メンズはストリート感溢れる構成を、レディースは個性を重視した打ち出しになっています。エイジレスでトレンドにとらわれないブランドばかりなので、個性的なスタイルを求めている方やありきたりなコーディネートに飽きた方には特におすすめです。

＜おすすめの商品やブランドを教えてください。＞

メンズは、男くさいアイテムが充実していて、今季から取り扱いを開始した“クエンチクラウド”は注目です。レ

ディースは、“メルシーポーカー”をはじめ、流行を全く無視したような(笑)独特の個性が詰まったアイテムを取り揃えています。

＜今秋冬の提案や着こなしについて聞かせてください。＞

メンズは、ストリートをベースに、アメカジやワークといった定番スタイルが人気です。春夏でも人気だった発色の強いインナーに合わせて、少し抑え気味な配色のアウターがよく出ています。レディースは、他店と比較して色味や柄の強いアイテムが充実していて、柄と柄と合わせたりとこれまでと一線を引くコーディネートが主流になっています。

＜ショップとして特にこだわられていることは何でしょう。＞

個人的にはストリートカルチャーをもう一度再燃させたいという想いがあるんですね。いつの間にか保守的になってしまっていた部分を改めて見直して、オープン当初のようにあえて万人受けを狙わない、攻めの姿勢がセレクトにも表れていると思います。

＜今後の展開について聞かせてください。＞

帯広に1店舗目の『ピースロックストア』をオープンして

からちょうど10年を迎える節目の今年、商品構成の変更や様々なイベントの開催などを繰り返してきましたが、今後も地元のお客様からより一層愛される店作りをしていきたいと考えています。“スモーキーウッド”も震災以降、展示会もできない状態でしたが、来年2月に東京でのコレクション発表が決まり、デザイナーと慌ただしく準備を進めています。来季は“メキシコ”にフューチャーしたストーリー展開になっていますので期待してください。

『JOHN' BRYCE APARTMENT』

住所 北海道帯広市西1条南8丁目20(広小路内)
電話 0155-26-3382

ウェブサイト <http://www.mytokachi.jp/cloak>

ブランド

<mens> QUENCHLOUD/DISCOVERED/
GARNI/M/OVER THE STRIPES/UBIQ/
X LARGE / MACK DADDY / SILAS /
THREE3T02FIVE5/SMOKEYWOOD

<ladies>

mercibeaucoup/TSUMORI CHISATO/
jevous enprie!/TSUMORI CHISATO Cat's



顧客の立場に立ち、個々のライフスタイルを通したファッションを提案。実店舗にこだわり、“人”と“人”のつながりを見つめ直す。

MAGNETIC MONSTER

関谷 亮太 / 『MAGNETIC MONSTER』オーナー

＜ショップのコンセプトについて改めて聞かせてください。＞

ブレない軸を持ちながら、その時々で共感できるアイテムを国内外のブランドより厳選してセレクトし、その他ヴィンテージからインテリア雑貨まで幅広く展開しています。ファッションを楽しむ個々のライフスタイルをトータルサポートさせていただきたいと考えています。

＜ショップの特徴やこだわりについて聞かせてください。＞

インターネットの需要が高まる現代において、実店舗にこだわり重視しています。“人”と“人”のつながりを念頭に、ショップの世界観を直にお伝えする姿勢を心掛けています。

＜リニューアルで注目したいポイントを教えてください。＞

今回のリニューアルでは「インダストリアルな空間」をコンセプトに、以前よりも売り場のスペースにゆとりを持たせ、お客様がゆとりとリラックスして商品を見ていただけるような空間作りを意識しました。アンティークや既存の物を再利用した什器や照明などはほぼ自作で、内装工事もほとんど自分達で施工しています。

＜おすすめの商品やブランドを教えてください。＞

この秋冬より新規取り扱いがスタートした“ニシカ”は、ほど良く力の抜けたテイストが絶妙。生地素材感を最大限に活かした最小限のデザインもまた魅力です。このブランドのアイコンともいえる“B.D.シャツ”は、再入荷分も即完売したほどの好評ぶりです。もうすでに当店のラインナップには欠かせないブランドとなっています。

＜今秋冬の着こなしについて聞かせてください。＞

個人的に今季注目しているのはメルトンやツイード素材のジャケットとコート。それに定番のファティグパンツ(軍パン)や太鼓のコーデュロイパンツなんかを合わせたスタイルが今の気分です。定番といえば定番ですが、プラスアルファで小物や素材感などで遊びを利かせ、少し個々の“色”に変化を付けたワンランク上の定番スタイルを提案しています。

＜今後の展開について教えてください。＞

ショップの世界観をひとりでも多くの方に共感していただけよう、魅力溢れる店作りと商品構成を常に心掛けていきたいと考えています。今後は海外でのバイイング再開も視野に入れ、当店独自の観点から新たな提案

を打ち出していきます。また、先日開催させていただいたショップ・イン・ショップ「アーチ/アーチヘリテージ・イン・マグネティックモンスター」は、ご好評につき来季も継続予定ですので楽しみにしてください。

『MAGNETIC MONSTER』

住所 北海道帯広市西3条南9丁目18

あちやビル-1F

電話 0155-27-2400

ウェブサイト <http://www.mytokachi.jp/magneticmonster>

ブランド A VONTADE/BIRKENSTOCK/
Burfield/ENTRY SG/G.H.BASS/Glacon/
GUNG HO/Hanna Hats/Honnete/Jabez
Cliff/KATO'/KATO' AAA/Le Minor/Martin
Faizey/nisica/Paraboot/SANDERS/
SANFRANCISCO HAT/SHURON/
spring court/Stuart Austin/Yarmo

これだけインターネットや携帯が発達しているのに、
いまさら印刷のマップなんて必要ないかもしれません。
使いにくいけど、なんとなく気に入っているマップ。
ふと思い付いて、おもむろに開き、今日はどこへいこうかぼんやり考える。
あなたの手に渡したかったのは、最新でも詳細な情報でもなく、
街へ足を運んでみる“きっかけ”です。



website

<http://www.pilot-publishing.jp/pilot/>

「PILOT magazine」(デジタル版)やウェブサイト限定の特別企画など、北海道カルチャーを独自に発信しています。



twitter

[pilot_tweet](#)

次号の発刊日や最新情報などを随時お知らせしています。

PILOT magazine December, 2011
スタッフリスト

プロデュース&出版
イワムラ リョウスケ (Pilot Publishing co.,Ltd.)
ウェブサイト <http://www.pilot-publishing.jp>

デザイン
EXTRACT
ウェブサイト <http://www.extract.jp>

境田 逸人 (bond graphic)
ブログ <http://bondgraphic.jugem.jp>

アキタ ヒデキ (tootootoo)
ウェブサイト <http://akitahideki.com>

フォトグラフ
吉川 麻子 (cocoon photographs)
山橋 哲栄

タイトルロゴ
サトウ アサミ
ウェブサイト <http://shumomo.jp>

「パイロット」ではクリエイティブな才能を
幅広く募集しています。

「パイロット」では、クリエイター・フォトグラファー・
イラストレーター・ライターなど様々なクリエイター
を募集しております。地元カルチャーと一緒に築
いていきませんか?それぞれ下記、Eメールより
お問い合わせください。

お問い合わせはEメールのみで対応を致しております。
広告掲載のお問い合わせは下記まで御連絡ください。

pilot publishing co.,Ltd.
e-mail info@pilot-publishing.jp
url <http://www.pilot-publishing.jp>

Pilot Publishing co.,Ltd. ALL right reserved
© 本誌掲載の写真・記事の無断複写・複製・転載・引用を固く禁じます。



